

特 集

消化管手術での “困難例” 対処法 こんなとき、どうする？

慣れ親しんでいる術式においても難渋することは、外科医なら誰でも経験する。困難例では、手術時間の延長や出血量の増加、術中・術後合併症が増加することもしばしば経験する。外科医は困難症例を乗り切る技術を身につけておく必要があるだけでなく、事前に予測することも重要である。また、このような技術と知識を兼ね備えてこそ一人前の外科医である。本特集では、標準手術を完投できるようになった若手医師に向け、ありがちな困難症例への対処法をエキスパートの先生方より伝授していただいた。